

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
小学校	田辺市立会津小学校	廣田 敬則
学校所在地		
〒646-0004 和歌山県田辺市下万呂59-1 Tel 0739(22)1164 fax 0739(22)6372 e-mail aizu-ps@citrus.ocn.ne.jp		
担当者名	役職名・担当教科	
橋 加奈子	教諭・6年生担任	
〔学校の概要〕		
<p>当校は田辺市街地から北東部にあり、虎が峰や高尾山・槇山のやまなみを源として流れる右会津川と左会津川の合流点近くに位置し、この2つの支流に沿った秋津・万呂の2町が校区となっている。当地は縄文時代の歴史遺産が多く、また熊野古道が通っているため、古くから人々の往来も盛んであった。本校の児童は、昭和40年代より漸増したが、田辺東部小学校の新設や校区の変更などにより、現在は500名前後で推移している。</p> <p>本年度の学級数は特別支援学級も含め19学級で田辺市内においては規模の大きな学校となっているが、児童は全体的に明るく素直で、落ち着いた生活を送っている。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年 6生 85名	12名 職員4名	教室・パソコン室・図書室・熊野古道
実践研究テーマ		
地域と共に生きる子どもの育成		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	伝えよう世界遺産	
〔キーワード〕		
世界遺産学習・熊野古道・情報活用能力		
〔単元目標〕		
<p>○「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産に登録されてから10年を迎えたが、校区にある熊野古道はあまり知られていないことから、校区にある熊野古道が持つ課題を発見することができる。（課題発見力）</p> <p>○学習したことを伝えるための効果的な方法を考え、分かりやすく適切に伝えることができる。 （コミュニケーション力）</p> <p>○調べ学習や体験学習等を通して、自分達が住んでいる地域のすばらしさを知り、郷土田辺を誇りに思い、この自然や文化を大切にし、これを後世に伝えていこうとする意識を高める。（自らの生き方を考える力）</p>		
〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕		
全体 40時間 （ 伝えよう世界遺産 ）		
〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕		
<p>NHK和歌山放送局・・・・・・・・・・NHK放送体験クラブ</p> <p>和歌山県世界遺産センター・・・・・・・・世界遺産入門・次世代育成事業（現地学習）</p> <p>和歌山県世界遺産マスター</p> <p>田辺市教育委員会学校教育課・・・・・・・・田辺市熊野古道語り部ジュニア発表会</p>		

## 実践校に関する事項

## 〔単元指導計画概要〕

	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	1. 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」について調べる。	・世界遺産センターのホームページ等 ・講師を招く。(浅利耕一郎さん)	ワークシート・発言 (課題発見力) (コミュニケーション力)
2	2. 地域を通る熊野古道について調べる。 3. 現地学習をする。 (秋津王子跡・万呂王子跡・須佐神社 ・谷野地蔵・奈目良地蔵)	・講師を招く。(浅利耕一郎さん) ・実際に現地を見学することにより、熊野古道を身近なものとする。	ワークシート・発言 (課題発見力) (コミュニケーション力)
3	4. 調べたことをテレビ番組として制作する。 5. NHK放送体験クラブにて番組録画を行う。	・NHK放送体験クラブに参加し、テレビ番組の制作の仕方を学ぶ。 (NHK放送体験クラブのみなさん)	台本・カンペ・ビデオカメラ操作・現場での指示等 (コミュニケーション力)
4	6. 世界遺産及び世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に関する理解を深める。 7. 熊野古道ウォークを行う。	・世界遺産センターに勤務されている方に来校いただき、世界遺産についての学習をする。 ・和歌山県世界遺産センターを訪ね、世界遺産に指定されている熊野古道を歩く。	ワークシート・発言 (コミュニケーション力) (自らの生き方を考える力)
5	8. 国語科とのリンクにより、ガイドブックを作る。 9. 田辺市熊野古道語り部ジュニア発表会に参加し、さらに熊野古道に関する。	・デジカメで撮った画像を、効果的に活用させる。 ・調べたことをまとめるだけでなく、聞き取りや収穫体験・古道ウォーク等の体験から学んだことや考えたことも掲載させる。	ガイドブック ワークシート (コミュニケーション力) (自らの生き方を考える力)

## 〔単元学習の成果と課題〕

- 成果
- ・校区にある熊野古道は、地域の人々にも余り知られていないことに気付き、自分達が守り語り継いでいかなければならないことを自覚することができた。
  - ・学習したことを伝えるための効果的な方法として、テレビ番組の制作やガイドブック作りに取り組むことにより、情報提供する側の工夫や苦労を体験することができた。
- 課題
- ・ガイドブック作りや田辺市熊野古道語り部ジュニア発表会への参加を学習のまとめとしたが、自分たちが地域に働きかけるというところまでは実施できなかった。校区に存在した「秋津王子」「万呂王子」をいかに後生に伝えていくかということが課題となる。

## 〔世界遺産学習の効果〕

- ・世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」について調べることにより、世界遺産について興味・関心を持つようになった。
- ・世界遺産に関わる人の思いに触れたり、身近な熊野古道を歩いたりすることにより、和歌山県のすばらしさを知り、郷土和歌山を誇りに思い、この自然や文化を大切にしていこうという意識を高めることができた。
- ・田辺市熊野古道語り部ジュニア発表会に参加することにより、自分たちがこの世界遺産を守り、後世に伝えて行かなければならないという意識を高めることができた。

## 〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕

- ・「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産登録から10年を迎えたということもあり、昨年度から総合的な学習の時間の中に、この世界遺産学習を組み込み実施してきたが、単発的な取り組み終わるのではなく継続的な取り組みとして位置づけていく必要がある。

様式 2

[活動写真]

学校区分	実践研究テーマ	学校名・学校長名
小学校	地域と共に生きる子どもの育成	田辺市立会津小学校 廣田 敬則



フィールド：和歌の浦アート・キューブ

日 付：平成27年2月12日（木）

コメント：NHK放送体験クラブに参加し、田辺市がほこる世界遺産「熊野古道」と題するテレビ番組を制作した。内容としては、「紀伊山地の霊場と参詣道」の紹介と、校区にある「秋津王子」「万呂王子」の紹介を行った。キャスターやリポーターだけでなく、ディレクターやカメラマン・音声等の役割も自分たちで行ったので、情報を発信する側の工夫や苦勞も学ぶことができた。



フィールド：本校 多目的ホール

日 付：平成27年10月27日（火）

コメント：和歌山県世界遺産センター主幹仲克幸先生に来校していただき、世界遺産についての学習をした。自分たちの住んでいる和歌山県だけではなく、世界の自然や文化遺産を知るとともに、世界遺産登録10年を迎え、更に新たに登録を予定している場所も含め、それらを守っていく必要があるということも学んだ。



フィールド：熊野古道中辺路

（伏拝王子～熊野本宮大社）

日 付：平成27年11月9日（月）

コメント：雨天のため、当初の予定「発心門王子～熊野本宮大社」を変更し「伏拝王子～熊野本宮大社」までの熊野古道ウォークとなってしまったが、伏拝王子付近では雲海が見られるなど、幻想的な世界を味わう貴重な体験となった。この体験を経た上で「田辺市熊野古道語り部ジュニア発表会」に参加したので、自分達の校区にある「秋津王子・万呂王子」も後世に語り継いでいかなければならないという意識を高めることができた。